

令和8年 星槎大学・大学院 入学式 新入生宣誓

やわらかな春風に心華やぐ季節となりました。本日は、私たちのために入学式を挙げていただき、誠にありがとうございます。大きな喜びとともに、身の引き締まる思いがしています。

私は現在、教員として中学校に勤務しています。約二十年間の教員生活の中で、不登校生徒に対してどのように支援すればよいかということを考え続けてきました。不登校と一口にいても、その原因や背景は様々です。生徒や保護者と関係を築き、それぞれのケースごとによりよい選択をしてきたつもりですが、今ここでこれまでの経験を整理したいと思うようになりました。きっかけは、一冊の本との出会いです。その本を通して、星槎中高での取組や星槎グループの教員の皆様が「支援教育カウンセラー」という資格を取得されていることを知りました。また、昨年度「特別支援教育コーディネーター養成研修」を受講し、子どもの気になる行動の発生メカニズムについて学びました。適切に対応しないと子どもは挫折を繰り返してしまいます。「困った子」ではなく、「困っている子」「どうしていいのかわからない子」というふうに捉え、行動の背景を考えることの重要性を再確認しました。そして、発達障害についての理解をさらに深めたいと思うようになりました。体系的に知識や技術を修得する中で、これからますます必要になってくる共生や多様性について具体的に学び、教員としての専門性をさらに高め、学校現場での実践に役立てたいと考えています。

通信制での学びは、自ら計画を立て、時間をやりくりしながら学習を進めていくことが求められます。ときには、思うように勉強が進まないこともあるかもしれません。しかし、そのようなときこそ、同じ目標を持つ仲間と励まし合い、先生方のご指導を仰ぎながら、一歩ずつ着実に前へ進んでいきたいと思えます。

私たちは、星槎大学での学びを通して、専門的な知識や技術を身につけることはもちろん、多様な価値観を知り、共生社会に貢献できる人間へと成長していくことを目指します。多くの方に支えていただきながら勉学に励むことができる環境に感謝し、挑戦を恐れず邁進していくことをここに誓い、宣誓の言葉といたします。

令和8年4月11日
星槎大学 共生科学部共生科学科
新入生代表 山賀貴子